

金融・労働ネットワークニュース No 01

金融・労働研究ネットワークがスタート

ようやく新たなネットワーク設立の集いにたどり着きました。当初はもっと早く立ち上げる予定でしたが、銀労研解散から、早くも一年が過ぎています。金融・労働研究ネットワークでは、研究会活動と、ホームページによる情報交換・交流が中心となりますが、それを補うものとして、ニュースレターの発行を考えています。

ウオールストリート占拠運動など海外の運動を見ますと、インターネットの情報発信力を痛感します。私たちも、この日本でインターネットを大いに活用したいと思います。

しかし、このネットワークの母体ともいえる旧銀労研を支えていただいた方の中には、インターネットはあまり使わないが研究会活動に参加を希望される方がいます。また、ホームページやメールを頻繁に活用されている方でも、メール等の情報を見落とされることがしばしばあります。

そうした隙間を埋めるために、ペーパーベースでのニュースを発行します。

ホームページ紹介

トップページ

このページでは金融・労働研究ネットワークとホームページの紹介。現在は高田先生のネットワーク結成の呼びかけ文がクリックで開きます。

メッセージとコラム

このページは「金融労働調査時報」の「視点」と「ひろば」のような提言とメッセージの紹介のページです。現在は作家の江上剛氏について、第一勧銀時代に同僚だったと言う、みずほ銀行勤務の中田金四郎さんからのコラムを紹介しています。

研究会のお知らせ

研究会のお知らせのためのページです。現在はリーマンショック以降継続してきた研究会（第1回2009年1月～第16回まで）の研究会の、テーマや報告者を紹介しています。

研究会報告

研究会での報告や報告レジュメを紹介するページです。現在掲示しているのは「東日本大震災における金融問題」報告者：鳥畑与一（静岡大学教授）この報告は2011年6月18日に開催された研究会報告の音声データを文章化したものです。2011年10月30日up 「TPP（環太平洋連携協定）問題—その背景と不透明な展望」報告者：高田太久吉（中央大学名誉教授）この報告は2011年4月24日に開催された研究会報告の音声データを文章化したものです。2011年9月7日up

このときの詳細なレジュメも合わせて掲載しています。

論文とレポート

ここでは、金融のあり方に関する調査・研究論文や金融労働運動が直面する課題についての論文を紹介します。現在掲示しているのは「労働契約法をどう生かすか」著者：鴨田哲郎弁護士 これは第37回銀行労働者夏期講座における講演を文章化し「金融労働調査時報」701号に掲載したものです。パート法を使ってパート労働者の低い労働条件を団交で追求する可能性など、裁判闘争に行かなくても団体交渉の場で法律や判例を活用する指摘など労働組合の団交担当者には大いに参考になるものです。

「銀労研の55年と金融労働運動」志賀寛子
この論文は『金融労働調査時報』終刊号（No 711）に掲載されたものです。本ホームページが継承を意図する銀行労働研究会と金融労働連とののかかわりの説明として紹介するものです

「労働安全衛生法を活用し・安心・健康な職場を」著者：村上剛志 東京社会医学研究セ

ンター理事

概要：金融労連やその傘下の個人加盟労組金融ユニオンには、パワーハラスメントによってメンタルヘルス障害に陥り、休職期間いっぱい療養したのちに解雇となるなど深刻な相談が相次いで寄せられています。また全損保（全日本損害保険労働組合）の例年の調査でもメンタルヘルス不全の長期療養者が多数出ていることが示されています。ここに紹介する報告は、深刻になっているメンタルヘルスにどう対応すべきかを明らかにしています。全損保で行われた講演を『金融労働調査時報』2009年7月号、8月号に掲載したものです。論文とレポートのページでは以上を含めて現在8本の論文・レポートを掲示しています。

金融労組の動き

金融労働者のたたかいと金融労組の取り組みを紹介します。現在は以下の2本のみ掲示しています。

「三菱東京UFJ銀行派遣切り裁判が和解で解決」（2011年8月up）

三菱東京UFJ銀行で派遣労働者として働いていた労働者が派遣切り＝雇い止めされて、銀行や派遣会社と争っていた裁判は、4月5日（2011年）、東京地裁で和解により解決しました。

「住友信託から個人加盟労組金融ユニオンに加入」背景にあるのは金融被害者と金融労働者の運動の積み重ね（2011年8月up）

住友信託銀行の契約社員が個人加盟労組「金融ユニオン」に加入しました。一人の契約社員が個人加盟労組に加入する背後には、金融被害者や金融労働者の長年運動の積み重ねがあります。国民のための金融を目指す消費者と金融労働者の取り組み、それを支える国会での取り組みの積み重ねがありました。このページは今後もっとこまめに、タイムリーに金融労組の動きを紹介したいと考えています。

海外の動き

「インド全土で銀行労働者が終日スト突入」

国立・公有銀行が大きなシェアを持つインドで、銀行労働者が全国的な規模で終日ストライキを行っています。現地インドのメディアや海外メディアのホームページから概略を紹介

しました。

また関連して、当ホームページの論文紹介のコーナーに、昨年（2010年）7月末に金融労連（全国金融労働組合連合会）を訪問したインド銀行従業員連盟のプラディプ・ビスワス書記長によるインドの銀行労働者のたたかいについてのコメント「90%国有・公有の銀行システムの維持・充実に取り組むインドの銀行労働運動」（『金融労働調査時報』2010年8月号No708に掲載）を掲載しています。2011年11月3日up

交流のひろば

ここでは他の研究団体や運動体のニュースやホームページの紹介交流の場としたいと考えています。現在は信用金庫や信用組合、労働金庫など協同組織金融機関の経営のあり方などを研究している「協同金融研究会」の研究会のお知らせ（定例研究会 2カ月おき）を掲載。次回研究会は1月25日（水）午後6時30分～8時30分から。テーマは金融機関の環境への取り組みと協同組織金融機関への期待（仮題）。報告者は末吉竹二郎氏（国連環境計画・金融イニシアチブ特別顧問／中央環境審議会総合政策部会「環境と金融に関する専門委員会」委員長）、長谷川絢子氏（環境省総合環境政策局環境経済課「21世紀金融行動原則」事務局）です。

また全国クレジット・サラ金問題対策協議会がメール配信している「多重債務・貧困対策NEWS」を転載しています。この「NEWS」では多重債務・貧困問題の取り組みをタイムリーで紹介され、金融被害者の運動が紹介されているので、金融にかかわる人たちにぜひ見ていただきたいものです。現在、昨年9月からのニュース7号分を掲載しています。

資料

裁判の判決や、行政の公表資料など紹介予定です。

金融・労働ネットワークニュース No01
金融・労働研究ネットワーク発行
102-0093
東京都千代田区平河町1-9-9
レフラスック平河町ビル402号室
TEL/FAX 03-3239-0170
e-mail finlabornet@ae.auone-net.jp